

失速IR

大阪万博前 開業を断念



▶夢洲全景(大阪市ホームページより)

コロナ拡大 環境激変

新型コロナウイルスの感染拡大で世界各地のカジノに閉鎖や営業停止が広がり、安倍政権が推進するIR（カジノを中核とする統合型リゾート）は開設の見通しを失っています。しかし大阪の維新府・市政は夢洲（ゆめしま=大阪湾の人工島）への誘致に執着しています。

経営状況は急速に悪化

日本進出を狙うカジノ事業者の財務状況は急激に悪化しています。▽横浜市 ラスベガス・サンズ 今年1～3月期の売上高が51%減、5月に突然撤退を表明▽大阪府・市 米MGMリゾート 売上高は前年同期比29%減に急落。3兆円もの負債を抱える同社には夢洲進出の余力なし▽和歌山県 もともと事業者にはIRへの巨額投資の能力があるか疑問。

「骨太方針」から削除

政府の「骨太の方針」原案で、2014年以来毎年、「成長戦略」として取り上げられてきたIRの記述が削除されました。しかし安倍首相はIRを「観光先進国の実現を後押しする」としがみついています。



「カジノあかん!」とパレードする参加者(前列右は清水ただし衆院議員) 2019年10月、大阪市

す。大阪の維新はIRの「2025年大阪万博」との一体開業は断念したものの、「26年度末までに全面開業」(吉村大阪府知事)と執念を持っています。

各国では、典型的な「3密」のカジノは不要不急の産業の代表格として真っ先に閉鎖などの対象になりました。時代遅れの「ビジネスモデル」・カジノ固執は、やめるべきです。

IRはカジノのみ

カジノは人の不幸を食い物にするもので、「成長戦略」になどなりえません。IRは国際会議場やホテル、劇場など巨大施設に人を集め、それをカジノに誘導し、カジノをエンジンにして回していくもので、カジノの高収益が見込めなければ破たんします。

GoTo キャンペーン

新型コロナウィルス感染者が急増する中、政府が行う「GoToトラベル」事業



に異論が噴出しています。

自治体の首長からは、全国一斉でなく地域限定を求める声が出され、医師会からは「収束していないのに前倒し実施とは」の指摘も。

「過度に思慮を欠いている」

共産党の志位和夫委員長はツイッターで「東京などの感染拡大で、これだけ不安が出ているのに、延期の検討すらせず突っ込んでいくというのは、『過度』に思慮を欠いている。観光業界などの方々が苦しんでいるのは、政府・与党がまともな補償をしてこなかったからだ。それに真剣に取り組むことを最優先にすべき」と発信しています。

「なぜ今?」異論が続出

「3密」カジノの固執やめよ

日本共産党